

● 広報

おぐし

2026

4

No. 858

わがしゅ 白い森でかがやく“若い衆”

理容よこはまで理容師をしている小関倫太郎さん（増岡）は、町内で生まれ育ち、都内での理容師経験を経て、現在、勤務3年目を迎えています。

商工会青年部にも所属し、積極的に活動を行う小関さん。「本業の他、最近は町内の色々なかたと力を合わせて小国を盛り上げたいと考えるようになりました。様々な情報を得られるこの仕事の良さを活かして、幅広い視点で町に貢献し、町民が挑戦できる土壌づくりをしていきたいです。」とこれからの思いを話していただきました。

令和8年度

施政方針

まちづくりの基本的考え方

令和8年度の予算編成に係るまちづくりの基本的な考え方として、地方自治体を取り巻く環境や国・県の政策動向を捉えながら、令和7年度に策定した「第六次小国町総合計画」に基づき、

- 1 白い森の国を担う「人づくり」
- 2 白い森の魅力を磨く「環境づくり」
- 3 白い森を舞台とした「暮らしづくり」

の3つの指針に沿って施策を展開することとし、その具現化に向け、横断する二つの視点「地域の暮らしを守る視点」「町内外とのつながりで成長していく視点」を基軸として事業を進めることとしています。また、施策の構築にあたり、「先を見る目」、「投資のタイミング」、「町民の意見を聞くこと」という考え方で精査した上で、「社会に即応した効率的な行財政運営」として限られた財源を有効に活用して、安全・安心な暮らしを実現していくことを重視して予算編成を行いました。

白い森の国を担う

「人づくり」

■「白い森幸せ応援パッケージ」を創設

結婚、妊娠、出産、子育ての支援を総合的に展開するため、「白い森幸せ応援パッケージ」を創設し、結婚祝い金10万円、拡充した出産支援金として10万円、国の制度を活用した妊婦のための支援給付金10万円、出産祝い金40万円、そして小学校入学時に就学祝い金50万円のあわせて120万円を交付するとともに、第二子以降も同様に給付します。また、出会いの場の創出と結婚に向けた相談体制の充実、マッチングサイト登録料の支援などの婚活支援にも取り組みます。

■より子育てしやすい環境の創出

前年度より実施している0歳から5歳児までの保育料の完全無償化及び母子健康手帳

と子育て支援機能を兼ね備えたスマートフォンアプリ「おぐにこ」の活用による、子どもの健康管理や各種予防接種の調整などを継続し、利便性の向上に努めるとともに、健康管理センターを利用した休日開放の「あそびの広場」については、これまでの毎月一回を二回に拡大することとし、子どもの遊び場と、子育て世代のさらなる交流の場の確保を図り、より子育てしやすい環境を創出します。



▲健康管理センターで開催されている「なかよし広場」

■保小中高一貫教育の推進

質の高い教育環境を確保しながら児童生徒一人ひとりの力をはぐくむ「白い森おぐに保小中高一貫教育」を推進するため、学習支援員や学力充実支援員等のほか、ICT機器の専門家による支援の拡充などを進めます。また、教育相談員の配置や臨床心理士によるカウンセリングなどを通じて、個々に対応した適切な支援体制を維持します。

■小学校の給食費の無償化

国が4月から全国の公立小学校で給食費を無償とする方針を明らかにしていることにあわせて、本町でも町立小学校の給食の無償化を実施します。

■「町民総がかりの教育」の推進

町立小中学校及び県立小国高等学校に設置されている各学校運営協議会と、白い森地域学校協働本部の連携による

町民総がかりの教育の展開に加え、各学校のPTAや学校パートナー、サイエンス講座などで協力いただく町内パートナーシップ企業等で構成される「白い森子ども応援隊」の活動支援を継続し、子どもたちに多様な学びの場を提供します。

■子どもの学びの環境を確保

町で運行するスクールバスを更新することとし、マイクロバス1台及びバンタイプバス2台を購入します。また、小中学生に一人1台配備して



▲給食を楽しむ小学生

いる学習用タブレット端末については、小学生用の端末を更新するほか、小国中学校の特別教室に空調設備を整備することとし、子どもたちの安心安全な学びの環境を確保します。

■小国高校魅力化の推進

山形県立小国高校では、「地域みらい留学365」及び「白い森留学」により、13人程度の留学生を受け入れる予定であるため、留学生が充実した高校生活を送ることができよう、受入環境の整備や地域活動に対して支援を行うほか、留学生の寮生活を指導、サポートするハウスマスターを配置します。また、高校魅力化コーディネーターを配置し、学校と地域が協働する仕組みづくりを推進するとともに、一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォームと連携しながら、全国からの生徒募集活動を展開します。

■おぐにふるさと文化館

「百石」の運営

本年度でオープンから3年目を迎えるおぐにふるさと文化館「百石」について、展示内容の充実や企画展の開催などの利用促進に取り組むとともに、貴重な民俗資料の収集・保管に努めます。

■次期総合センターのオープン

令和6年度から建設を進めている次期総合センターについては、本年度オープンを迎えるにあたり、竣工式やオープン記念行事を実施します。また、次期総合センターの開館後は、現在のおぐに開発総合センターを解体することとなるため、解体工事設計を行います。さらに、その跡地及び町民プール、町民広場などを含めた周辺一帯については「おぐに開発総合センター等跡地利用整備計画」に基づき、有効な跡地利用に向け準備を進めます。

白い森の魅力を磨く「環境づくり」

■災害などへの備え

円滑な消防団活動を確保するため、小型動力消防ポンプ付積載車を1台配備します。また、避難所における飲料水や非常食、紙おむつなどの備蓄品の計画的な更新配備を進めます。

■ハザードマップの改定

昨年県が公表した、中小河川の洪水浸水想定区域及び、本年度中に予定されている気象情報の改正等を反映するため、令和3年度に作成したハザードマップを改定します。

■有害鳥獣被害対策

「有害鳥獣被害対策実施隊」の有害鳥獣捕獲にかかる活動謝礼を2千2百円から8千円に拡充するとともに、緊急銃猟の際に必要な備品購入を行うほか、狩猟免許取得に要す

■特定空き家の解体を助成

空き家は、地域の安全、景観、衛生などの観点から、対応が喫緊の課題となっているため、周辺住宅等へ影響を及ぼす特定空き家の解体処分に

費用の一部を助成します。また、ツキノワグマなどの出没要因となっている果樹の伐採や電気柵の設置を支援し、町民の安全確保と農作物被害の防止に努めます。



▲町内に設置したカメラで目撃されたツキノワグマ

ついて、一戸あたり50万円を上限に助成します。

■町道等の整備

西田沢頭線の整備を継続するほか、前年度から実施している沼沢地内の町道川下明沢線の道路拡幅に向けた資料の作成や関係機関との協議を進めます。

■冬季間の安全安心な生活環境の確保

また新たに、町道館貝少線の道路及び側溝の改良を行うとともに、町道橋の栄町地内の滝橋ほか5橋の補修工事と、綱木箱口地内の落合橋など4橋の補修設計を進めます。

■上下水道および工業用水の維持管理

上下水道事業及び簡易水道事業、工業用水道事業では、設備、機器等の的確な更新による長寿命化や適正な料金体系を確立し、持続可能かつ安定的な事業の推進を図ります。また、上水道供給の先端区域となっている町原地区、あけぼの地区等に対して、安定的な給水を確保するため、隣接する大滝簡易水道からの緊急連絡管路を接続する工事を行います。

■公共交通の運行

町営バス1台を更新すると



▲ロータリーを使った除排雪作業の様子

ともに、町営バス3路線、デマンドタクシー4路線の運行を確保し、利用実態と利用者のニーズに合わせたダイヤ編成に努めるとともに、公共ライドシェアなど多様なニーズに対応した地域公共交通のあり方について検討します。

■買い物支援の推進

スーパーの休業など、町内の商業環境は大変厳しい状況となっていることから、この対策として、小国町買い物支援事業運営グループによる、白い森ショッピングセンターアスモでの食品販売を支援します。また、町商工会が実施するキャッシュレス決済による町内の消費拡大の取り組みに対して支援します。

■叶水地区のほ場整備に向けて

現在、叶水地区に整備されている圃場は、整備から50年以上経過し、他の地域

と比較して収穫量が減少していることなどから、新たなほ場整備に向けた測量調査等を実施します。

■町内農業を支援

地域が共同で行う農地や農業用施設の維持管理と、農村環境の安全、災害時における復旧活動などを支えるため、多面的機能支払事業を継続するとともに、中山間地域等直接支払制度の活用により、生産条件が不利な傾斜地等での農業生産活動を支援します。

■DXの取り組み

住民票や印鑑登録証明書、税証明などの証明書をコンビニエンスストア等で発行可能となる環境を整備します。また、公式LINEを活用した施設予約システムを次期総合センターに導入し、住民の利便性の向上を図ります。

白い森を舞台とした「暮らしづくり」

■地域医療の確保

町民の命と健康を守る皆である町立病院は、昨年度介護老人保健施設温身の郷の入所機能を町立病院介護医療院に移管し、経営の効率化を図りながら地域医療の確保に努めました。本年度は、さらに機能的かつ効果的な運営や、持続可能な医療・サービス提供のあり方について検討を行います。

■人工透析患者を支援

人工透析に係る送迎事業を継続し、町外に通院している透析患者の身体的、経済的な負担軽減を図ることにより、安心して通院できる環境を確保するとともに、送迎事業を利用されないかたへ交通費を助成します。

■移動が困難なかたへの支援

障がいのあるかたや、要介護高齢者などの移動が困難なかたに対し、本年度より福祉タクシー利用助成券を約4倍に増やし、通院や生きがいづくりを支援します。

■予防接種受診の支援拡充

乳幼児及び学童への定期予防接種では、新たに加わった「RSウイルスワクチン」の接種をはじめ、中学生までのインフルエンザ予防接種のほ



▲昨年10月より介護医療院機能を組み入れた町立病院

か、高齢者の新型コロナウイルスやインフルエンザ、肺炎球菌に加え、带状疱疹などの予防接種を支援します。

■がん患者を支援

がん患者が安心して生活できるよう、医療用ウィッグや乳房補整具の購入費、山形大学医学部附属病院における公的保険の適用とされない重粒子線治療の受診を支援します。

■白い森まるごとブランド

構想の推進

デジタル技術を活用した観光コンテンツの整備や、本町の人々や暮らしの様子を短い動画等にまとめ、デジタルコンテンツ化を進めるほか、首都圏等でファンミーティングを行うなど、関係人口の創出に取り組めます。また、ふるさと納税返礼品の充実に努め、町内民間事業者が実施する特産

品の改良や新商品の開発、販路開拓等の取り組みを支援します。

■観光資源の保全と活用

重要な観光資源である飯豊温泉を安定的に活用するため、土砂崩壊により損傷した引湯管や合流槽等の更

新工事を行います。また、町民花火大会を含めた夏まつりや、豊かな旬の素材を活用した多彩なイベントの開催を支援するほ



▲賑わいをみせる白い森イベント「春まつり」

か、交流人口のさらなる拡大と観光交流の発展を目指すため、構成市町が一体となった観光情報の発信や、インバウンドなど新たな旅行需要の開拓に取り組む事業に参画するとともに、地域総合商社や観光協会などと連携し、海外旅行会社などを対象とした体験ツアーを行い、インバウンド集客を強化します。

■マルチワークの活性化
マルチワーカーの派遣に

取り組む「おぐにマルチワーク事業協同組合」に対し、国の制度に基づき支援し、町の労働力の確保及び多様な働き方の推進を行います。

■移住施策のさらなる促進

首都圏等で開催される移住イベントへの出展や、パンフレット、ホームページなどにより移住希望者へPRを積極的にを行うとともに、SNSを



▲都内で開催された移住フェアへの出展の様子

活用した移住者による町の魅力の発信、移住を検討しているかたと地域を結びマッチングサイトの運営などを実施し、移住促進に関わる情報発信の強化に努めるほか、移住者が居住するための空き家の改修にかかる費用を支援します。また、不足している福祉人財の確保を図るため、本町への転入者で、保育士または介護士として就職し、住宅を購入、賃借したかたに対して、奨励金を交付します。

社会に即応した効率的な行財政運営

■計画に基づいた運営推進

この度策定した、第六次小国町総合計画や第三期地域創生総合戦略、過疎地域持続的発展計画で示したそれぞれの施策を、一体的に進行管理し、計画的、総合的に推進します。

■自治体DXのさらなる活用

職員の出退勤を含めた勤怠状況を管理するシステムの本格運用や、簡易的にパソコン等のアプリケーションを作成・運用できるサービスを活用し、行政事務の効率化を図ります。

■ふるさと納税の活用

本町を応援する多様なかたの思いが込められたふるさと納税による資金を、地域活性化に資する事業に活用するため、ふるさと納税

を原資とする「白い森ふるさと応援基金」を積み増します。また、企業版ふるさと納税促進に向けた周知活動やクラウドファンディングなどを活用し、さらなる収入確保に取り組みます。

■職員の人財育成と民間人財の活用

職員の人財育成として、一般財団法人地域活性化センターに1人、また全国町村会主催の地域農政未来塾に研修生を派遣します。このほか、民間の知識や経験などを生かし、「白い森まるごとブランド構想」を推進するため、国の地方創生人材支援制度及び地域活性化起業人制度を活用した人財として、昨年度に引き続き、民間企業から1人を受け入れます。

令和8年度予算

一般会計予算 66億円

(昨年度から21億8,000万円減額)

新年度予算概要

令和8年度予算が、小国町議会3月定例会で可決されました。一般会計予算は66億円。前年度より24.8%、21億8,000万円の減額となりました。一般会計と特別会計、企業会計を合わせた町予算の総額は、119億2,215万6千円。昨年度に比べ17億2,967万7千円(12.7%)の減額となりました。

歳入では、町税は町内中核企業の業績が安定していること等の要因により、若干の固定資産税の増額を見込んでおり、前年度比0.8%増の12億4,275万2千円となりました。次期総合センター建設事業費の計上が終了することなどから、総務費が前年度比65.0%減の11億4,547万5千円となりました。

※令和8年度予算については、5月1日の駐在員文書で配布される「令和8年度予算のあらまし」でも詳しく紹介します。是非、ご覧ください。

※施政方針の全文は町ホームページにて公開しております。



白い森スノーフェスティバル 小国の冬を盛り上げる

2月21日、道の駅白い森おぐにを会場として白い森スノーフェスティバルが開催されました。

イベントでは、バブルボールに身を包み、雪上で押し合う「雪上バブルボールすもう」が初めて行われ、参加者は新しい感覚のアクティビティを楽しんでいる様子でした。

このほか、会場では木育ワークショップでのスプーン・フォークづくりやスノーランタン制作、雪像づくりなどが行われ、晴天のもと、大きな盛り上がりを見せていました。



▲新競技「雪上バブルボールすもう」の様子

緑のふるさと協力隊&地域おこし協力隊活動報告会 活動を通じた経験や町への提案を発表

3月3日、白い森ショッピングセンターアスモにおいて本町の緑のふるさと協力隊及び地域おこし協力隊の活動報告会が行われました。

当日は今年1年間の活動の総括と、活動を通して得られたこと、そして得たものをどう生かしていくかについて各隊員から報告がありました。また、隊員から町に対して経験を踏まえた提案や今後の本町の展望についても述べられ、参加したかたからは発表に対して大きな拍手が送られていました。



町内小中学校 地産地消の日給食 地元の恵みを楽しく美味しくいただく

3月6日、町内各小中学校において地産地消の日給食が行われ、山形県産食材の米沢牛を使った牛丼と小国町産食材のワラビとナメコの味噌汁が提供されました。小国小学校で給食委員長を務めている5年の本間崇介さんは「小国や山形には美味しい食べ物がたくさんあることは知っていましたが、今回給食で食べることであらためて地元食材の美味しさを学びました。この給食を通して、児童の皆さんにも地元の食について知ってもらえればと思います。」と話していました。



▲米沢牛の牛丼を味わう

第28回雪の学校

自然と文化を体全体で学ぶ

第28回雪の学校が、3月7日から8日にかけて、白い森交流センターリふれを主会場に開催され、県内外から参加した18人のかたが地元のマタギと徳網山を登るスノートレッキングやマタギ講話、伝統行事のさいず焼きを模した火まつりなどを体験しました。

参加したかたからは「実際に雪山に登る体験や貴重なマタギの話を聞くことができ、小国の冬について多くの経験を得ることができました。」と感想をお話いただきました。



▲かんじきを履いて徳網山をスノートレッキング

雪の中の大冒険

探して走って冬を満喫

小玉川地区自然教育圏整備促進協議会、小玉川地区青年団イチコロが主催する雪の中の大冒険が3月8日、旧小玉川小中学校グラウンドで開催され、毎年名物となっている雪でつくられた巨大迷路や滑り台などがつくられたほか、恐竜レースやスノーモービル体験、迷路での宝探しなどのアクティビティも行われました。訪れた子どもたちからは「雪の迷路は迷ったけど宝物を見つけられて嬉しかった」、「雪の上を走れて楽しかった」といった声が聞かれました。



▲雪の迷路でみんなで宝探し

ぶな文化ふれあい講座

受け継がれる生活技術を体験

小国町教育委員会が主催するぶな文化ふれあい講座の「わらじ・ぞうり編み教室」が3月17日、おぐに開発総合センターで行われ、5人が参加しました。

教室は横山清雄さん（幸町）を講師に迎え、本町で長年受け継がれているわらじ・ぞうりの編み方について学びました。参加者は講師の手や足の使い方などを見ながら、ビニール紐や布切れを使いぞうりを制作しました。悪戦苦闘しながらも参加者同士で会話をしながら楽しく体験する様子が見られました。



▲体を使いながらぞうりづくりを進める

令和8年 第3回 小国町議会定例会

令和8年第3回定例会が3月5日から17日まで開催されました。令和7年度一般会計補正予算や令和8年度各会計予算、条例改正などが審議され、すべて原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

一般会計から

7308万5千円を減額

病院事業会計に対する負担金の増額や、預金金利の上昇による利子積立金の増加、国の補正予算を活用した避難所備品の購入に係る経費、小国小学校体育館への空調設備整備に要する経費等を増額したほか、決算見込み等に基づく不要額の減額を行いました。補正額は7308万5千円の減額となり、補正後の予算総額は99億8050万2千円となりました。

除排雪経費の増加

2月下旬に発生した強い寒気の影響による降雪に伴う除雪経

費に加え、町道脇の農地や空き地などに積み上げた雪の処理が必要であるため、除排雪に要する経費を追加しました。

小国町空家等の適正管理に関する条例の制定について

人口減少や高齢化に伴い、使用されていない空家が年々増加しており、防災、衛生及び生活環境への影響が懸念されています。本町においても、小国町空家等対策計画を策定するとともに、所有者等の責務と町における必要な措置等について定め、実効性のある空家対策を行うため、条例を制定しました。

小国町犯罪被害者等支援条例の制定について

犯罪被害者等基本法及び県の犯罪被害者等支援条例などに基づき各種施策が展開されていることを受け、本町においても犯罪被害者等を地域全体で支える意識の醸成を図るため、条例の制定を行いました。

小国町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

国の「こども未来戦略」に基づき創設された「こども誰でも通園制度」の実施に伴い、運営等の基準を定めるため、条例の制定を行いました。対象者は、保育施設に通っていない0歳6か月から満3歳未満の児童で、月10時間の範囲内で保育施設を利用することが可能となりました。

小国町出産支援金交付条例の一部を改正する条例の制定について

妊娠、出産等に要する経済的負担の軽減を図り、安心して出産を迎えることができる環境づくりを目的として交付している出産支援金について、現金と金券あわせて5万円から現金のみとし10万円に拡充することとしました。

小国町国民宿舎条例の一部を改正する条例の制定について

国民宿舎梅花皮荘の一部客室が洋室化することに伴い、新たな料金設定を可能とするための改正を行い、料金改定を実施することとしました。

(仮称)小国町次期総合センター建設工事請負契約の一部変更について

(仮称)小国町次期総合センター建設工事については、令和6年度の豪雪に加え、令和7年夏の猛暑により作業効率が低下したことや、労働力不足等により作業に時間を要していることから、工期を本年8月31日まで延長することとしました。また、施設における町産材活用の範囲を広げるほか、排水設備、防犯設備等の安全な環境確保に向けた整備を行うこととしたため、契約金額を4791万7100円増額し、25億3498万6300円としました。

小国町過疎地域持続的発展計画を定めることについて

第六次小国町総合計画で示した将来像の実現に向け、総合的、計画的な過疎対策を推進するため、地域で暮らす人々を中心に、協働人口を含めた多様な主体による交流と連携と協働のまちづくりを進めていくことを示した「小国町過疎地域持続的発展計画」を定めました。

児童手当等制度のご案内

次の手当等の対象となるかたは、申請が必要です。

	児童手当	母子家庭等修学費	児童扶養手当	特別児童扶養手当
対象者	出生から高校生年代の児童を養育しているかた ※令和6年10月から所得制限が撤廃されました	母子・父子家庭で児童を養育しているかた 父母ともにいない場合は、親に代わって児童を養育しているかた	母子・父子家庭で児童を養育しているかた 父母ともにいない場合は児童を養育しているかた 父・母が重度の障がい者である家庭	身体、知的、精神に障がいのある児童を在宅で養育しているかた (疾病による内部障がいも該当する場合があります)
手当月額 R8.4現在	・3歳未満 第1子・2子 15,000円 第3子以降 30,000円 ・3歳～高校生年代 第1子・2子 10,000円 第3子以降 30,000円	小学生 2,000円 中学生 3,000円 高校生 3,500円	48,050円～11,340円 2人目以降の加算額 11,350円～5,680円	1級 58,450円 2級 38,930円
支給期間	出生から18歳到達後最初の3月31日まで(申請月の翌月から支給)	児童が小学校入学から満18歳に到達する年度末まで(在学期間中のみ)	児童が満18歳に到達する年度末まで(一定の障害がある児童の場合は20歳未満)	児童が満20歳に到達する月まで
支給月	4・6・8・10・12・2月	9・3月	5・7・9・11・1・3月	4・8・11月
現況届等	毎年6月に町から提出依頼があったかたのみ	毎年8月に現況届提出	毎年8月に現況届提出	毎年8月に所得状況届提出

■問合せ 健康福祉課 (☎61-1000) ハ

令和8年度

乳幼児健診の日程

乳幼児健診は、健康管理センターで行います。

当日は、母子健康手帳を持参してください。

◇問合せ 健康管理センター (☎61-1000) ハ

■3・4カ月児健診 受付 13:10～13:20

■9・10カ月児健診 受付 13:00～13:10

月日	対象となるお子さん	
	3・4カ月児	9・10カ月児
5月8日(金)	R7年12月、R8年1月生まれ	R7年6月、7月生まれ
7月3日(金)	2月、3月生まれ	8月、9月生まれ
9月4日(金)	4月、5月生まれ	10月、11月生まれ
11月6日(金)	6月、7月生まれ	12月、R8年1月生まれ
1月8日(金)	8月、9月生まれ	2月、3月生まれ
3月5日(金)	10月、11月生まれ	4月、5月生まれ

■フッ素塗布 1歳6カ月児健診、2歳児歯科健診で希望されるかたに行います。そのほか、おおそ2歳、3歳になるかたにもフッ素塗布を行っていますので、町ホームページをご確認ください。

■1歳6カ月児健診 受付 12:30～13:00

月日	対象となるお子さん
7月3日(金)	R6年9月、10月、11月、12月、R7年1月生まれ
11月6日(金)	R7年2月、3月、4月、5月生まれ
3月5日(金)	R7年6月、7月、8月生まれ

■2歳児歯科健診 受付 13:00～13:15

月日	対象となるお子さん
6月17日(水)	R5年9月、10月、11月、12月生まれ
10月21日(水)	R6年1月、2月、3月、4月生まれ
2月17日(水)	R6年5月、6月、7月、8月生まれ

■3歳児健診 受付 12:30～13:00

月日	対象となるお子さん
4月10日(金)	R4年8月、9月、10月生まれ
8月7日(金)	R4年11月、12月、R5年1月、2月、3月生まれ
12月11日(金)	R5年4月、5月、6月、7月生まれ

■5歳児健診 受付 12:30～13:00

月日	対象となるお子さん
5月8日(金)	R3年4月、5月、6月、7月生まれ
9月4日(金)	R3年8月、9月、10月、11月生まれ
1月8日(金)	R3年12月、R4年1月、2月、3月生まれ

4月から教育委員会が「小国町役場庁舎」へ移転します

これまで「おぐに開発総合センター」内にありました小国町教育委員会は、令和8年4月1日(水)から「小国町役場庁舎」へ移転しました。
 移転に伴い、窓口の場所や連絡先が次のとおり変更となります。来庁やお問い合わせの際は、お間違いのないようご注意ください。
 ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■新住所 〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町2-70

■新しい連絡先
 <小国町教育委員会>

課	室	担当	電話番号(直通)
教育振興課	教育振興室	学校教育担当	0238-87-3440
	生涯学習室	生涯学習担当 スポーツ振興担当	0238-87-3441

代表電話及びFAXは、役場共通の代表電話(62-2111)及びFAX(62-5464)となります。
 ※高校魅力化推進担当については、4月以降も総合センターで事務を執ります。

■おぐに開発総合センターの利用について

次期総合センターのオープンまでの間は、4月以降も現在の総合センターを運営します(温泉含む)。

なお、図書室につきましては、次期総合センターへの移動作業のため休室とさせていただきますが、山形県立図書館との相互貸借サービスは承ります。

施設予約や利用に関するお問い合わせは、引き続きおぐに開発総合センター(☎62-2141)までお問い合わせください。

「自生山菜」の放射性物質に注意

過去に、県内の他市町村で採取された「コシアブラ」から基準値を超える放射性物質が検出されております。これから「自生山菜」の発生時期を迎えますので、次のことに注意してください。

- ①「自生山菜」を出荷・販売される際は、出荷前に自主検査を徹底し、安全性を確認してから出荷してください。なお、出荷には「インターネット等による通信販売」も含まれます。
- ②森林所有者や地域住民の管理している場所などがありますので、確認を行ってから採取するようにしてください。

■問合先 山形県農林水産部森林ノミクス推進課林産振興担当(☎023-630-2526)または置賜総合支庁森林整備課普及担当(☎0238-26-6065)へ

令和8年度健康管理センター作品展の出展を募集します

それぞれの活動において制作された作品をご出展していただける個人、団体を募集します。

■展示期間

4月1日～令和9年3月31日の間で2週間程度

■場所

健康管理センター入口ロビー(パネル5枚程度)

■申込期間 随時受付します。

■展示作品について それぞれの活動において制作した作品(絵画、写真、陶芸作品等)

■その他 申込時に出展者名、代表者、住所・電話番号、展示内容、ご希望の展示時期をお聞きます。展示の飾りつけ、取り外し、管理等は各自でお願いします。

■問合先 健康福祉課福祉担当(☎61-1000)へ

小国町キャッシュレス割引クーポンキャンペーンを実施します

対象店舗でauPAYによるキャッシュレス決済をすると、支払額のうち最大50%が割り引かれます。操作方法や不明な点を相談できる説明会を実施しますので、ぜひ各会場に足をお運びください。なお、対象店舗等の詳細は全戸配布チラシ、店頭ポスター・チラシ、町・商工会ホームページでご確認ください。

■期間 4月22日(水)～5月31日(日) ※予算額に達し次第終了

■内容 4,000円以上のお買い物で、最大2,000円の割引
※4,000円未満の利用時は50%上限の割引額となります。

■利用回数 5回まで ※予算額に達し次第終了

■取得方法 4月17日(金)に配布する全戸チラシまたは店頭ポスターからクーポンを読み取って取得できます。 ※アプリ上からはクーポンを配信しません。

■説明会

①白い森ショッピングセンターアスモ 4月22日(水)～24日(金) 10時～16時

②国民宿舎飯豊梅花皮荘 4月22日(水) 10時～13時

③白い森交流センターりふれ 4月23日(木) 10時～13時

④水源の郷交流館 4月24日(金) 10時～13時

※説明会の日にauPAY残高へ現金入金ができるチャージカードの販売も行います。アスモでは常時購入できます。

■問合せ先 小国町キャンペーンコールセンター (☎0120-907-542) へ

※4月10日(金)～5月31日(日) 10時～20時 (全日)

就職や退職で健康保険が変わったら

健康保険が変わったかたは国民健康保険の手続きが必要ですので、役場町民課窓口までお越しください。(マイナンバーカードを保険証としていたかたも必要です。)

■退職などで職場の健康保険をやめたかた

健康保険の扶養家族でなくなったかた

・持ち物

①職場等から交付された「資格喪失連絡票」

②「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」

※60歳未満のかたのみ

■就職などで職場の健康保険に加入したかた

・持ち物

職場などから交付された「資格確認書」

または「資格情報のお知らせ」

■マイナ保険証・資格確認書の利用について

国民健康保険以外の健康保険に加入すると、新しい健康保険の資格を取得した日から国民健康保険は使用できませんのでご注意ください。

■問合せ先 町民課国保医療担当 (☎62-2260) へ

子ども・子育て支援金制度が開始されます

子ども・子育て支援金制度とは、全ての世代や企業のみなさまから支援金を拠出いただき、子育て施策の拡充に充てるもので、子どもや子育て世代を社会全体で支える制度です。

支援金額は加入する医療保険制度や所得に応じて異なりますが、小国町の国民健康保険加入者の令和8年度における子ども・子育て支援金に係る保険税率は次のとおりになります。

■所得割額(所得に応じて負担いただく分を算定する率)
0.29%

■均等割額(加入者が公平に負担していただく分)
1,200円

■18歳以上均等割額
(18歳以上の加入者が公平に負担していただく分)
100円

■平等割額(加入世帯ごとに負担していただく分)
800円

■その他 保険税等の詳細は、7月に送付される保険税額決定通知書に記載されます。18歳に達する日以後最初の3月31日までのかたについては、均等割額が全額軽減されます。

■問合せ先 町民課国保医療担当 (☎62-2260) へ

令和8年度 小国町住宅リフォーム総合支援事業費補助金について

■補助要件

- ①「やまぽっかりノベ」、「バリアフリー化」、「克雪化」、「県産木材使用」のいずれか1つ以上を含む工事で、かつ町の定める基準点を満たすこと
※「やまぽっかりノベ」：国の断熱義務化基準を上回る県独自の断熱性能基準「やまぽっか基準」を満たす断熱改修工事
- ②町内に住所を有するかたで、自身が町内に所有する住宅等にかかる工事であること
- ③工事施工にあたり、県内業者と請負契約を締結すること
- ④工事に要する費用が10万円以上であること ⑤令和9年1月末までに完了する工事であること
- ⑥町税等に滞納がないこと ⑦申請前に工事を着工していないこと

■補助金額

- ◎一般世帯：リフォーム工事費の10%（上限12万円）※町内業者と契約する場合は、工事費の20%（上限24万円）
- ◎一定の条件を満たす「新婚」、「移住」、「子育て」世帯等：リフォーム工事費の15%（上限15万円）
※町内業者と契約する場合は、工事費の30%（上限30万円）

■**申込方法** 補助金交付申請書に必要な書類を添えて、地域整備課に提出してください。申請書は地域整備課にあります。受付は申請順で、町の予算の範囲内で助成します。

■**募集開始** 4月13日(月)～

■**問合せ先** 地域整備課建設管理室 (☎62-2431) へ

法務局からのお知らせ

長井市役所1階に、法務局が発行する証明書交付窓口を設置しております。ぜひご利用ください。

■**設置場所** 長井市役所1階「長井法務局証明サービスセンター」

■**利用時間** 平日9時～12時・13時～16時30分

■取扱業務

- ①不動産及び会社・法人の登記事項証明書
※地図及び各種図面等の写しの請求はできません。
※会社・法人の登記事項証明書請求の際に印鑑カードをお持ちいただくと便利です。
※不動産及び会社・法人の要約書の請求はできません。
- ②会社・法人の代表者事項証明書及び印鑑証明書
※印鑑証明書請求の際には、印鑑カード及び代表者の生年月日が必要となります。
- ③動産譲渡登記及び債権譲渡登記の概要記録事項証明書

■**問合せ先** 山形地方法務局米沢支局 (☎0238-22-2148) へ

4月10日(金)は児童手当の支給日です

指定された請求者名義の口座に振り込みますのでご確認ください。

児童手当は年6回偶数月の10日に、前月までの2カ月分を支給します。10日が土日祝日の場合はその直前の平日に支給します。

■**問合せ先** 健康福祉課福祉担当 (☎61-1000) へ

合併処理浄化槽の設置補助

■**対象** 町公共下水道認可区域外の住宅で、汲み取り便槽または単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に替える工事をする場合。

■補助金額

5人槽46万2千円／6～7人槽53万3千円
※単独処理浄化槽からの切り替えの場合、配管工事費を対象に33万円（上限）を加算します。また、リフォーム（新築以外）で設置する場合は県の上乗せ補助があります。

- ・5人槽 20万8千円（上限）
- ・6～7人槽 25万9千円（上限）

■**その他** 新築で合併処理浄化槽を設置する場合は補助要件があるので、お問合せください。

■**問合せ先** 地域整備課建設管理室 (☎62-2431) へ

固定資産税課税台帳の閲覧・土地家屋価格等帳簿の縦覧

令和8年度固定資産課税台帳の閲覧と、土地家屋価格等帳簿の縦覧を行います。この機会に所有する資産をご確認ください。

■**期間** 4月1日(水)～6月1日(月)（土日祝日除く）

■**時間** 8時30分～17時15分

■**場所** 役場 税務課

■**問合せ先** 税務課税政管理室 (☎62-2403) へ

「町民の警察官表彰式」が行われました

小国地区警察官友の会（五十嵐友明会長）が主催する令和7年度「町民の警察官」表彰式が2月25日に行われ、小国警察署刑事生活安全課の亀井奈々巡査長が「町民の警察官」を受賞しました。

亀井巡査長は小国警察署勤務3年目で、女性捜査員として、被害者の心に寄り添った活動をする一方、県警の逮捕術大会では優勝を果たすなど、心と身体を鍛え、本町の治安維持に貢献したことが認められ、今回の受賞となりました。



▲表彰式での受賞の様子

全国大会出場選手の 激励金交付式を行いました

3月21日から22日にかけて秋田県で開催された第23回全国ホープス選抜卓球大会に女子団体競技で出場した小国小学校6年の伊藤咲喜さんと、3月23日から25日にかけて新潟県で開催された第53回全国高等学校選抜卓球大会に女子団体競技で出場した渡邊紗也さんの2人を激励するため、3月11日に激励金交付式を実施しました。

※出場選手の所属・学年は大会出場当時の内容となっています。



▲小国小学校6年の伊藤咲喜さん（左から2番目）

愛犬に狂犬病予防注射を！

犬を飼う場合、飼い主のかたは愛犬に、年に一度必ず狂犬病の予防注射を受けさせる義務があります。狂犬病に対しては現在のところ有効な治療法がありませんので、予防注射は必ず受けてください。

実施日	会場	時間
4月13日(月)	叶水基幹集落センター前	9:00~9:15
	沼沢駅前広場	9:35~9:55
	宮の森会館前	10:20~10:40
	旧沖庭小学校昇降口前	10:50~11:10
	多目的屋内運動場「あいバ」駐車場	13:30~14:30
4月14日(火)	白い森交流センターりふれ駐車場	10:00~10:15
	小国町役場 東側駐車場	10:45~11:45

犬を飼っているかたへ～マナーを守りましょう～

- ・放し飼いは禁止されています。つないで飼うようにしてください。
- ・散歩は必ず引き綱を付けて下さい。
- ・犬の散歩をするときは、糞を必ず持ち帰りましょう。

■持参するもの

集合注射料金3,500円
(つり銭がないように準備ください)
予防注射の通知はがき(問診表記載の上)

■犬の登録について

犬を飼う場合は、町への登録が必要です。未登録や住所変更、死亡等の場合は、手続きをしてください。

■注意点

注射の際、犬が暴れたり他の犬や人にけがをさせてしまうことも考えられます。しっかり抑えることができるかたが連れてきてください。

■問合せ先

町民課町民生活担当 (☎62-2261) へ



お知らせ

町営住宅入居者募集

小坂町団地

3DK 5戸

(2階、3階、4階)

◎対象 世帯状況に応じた所得制限あり

◎家賃 所得により決定

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 4月10日(金)

◎入居時期 5月上旬以降

◎問合せ 地域整備課建設管理担当 (☎62-2431)へ

危険物取扱者試験準備講習会のご案内

■日時

①乙種第4類

5月18日(月)～19日(火)

9時30分～16時30分

②丙種 5月18日(月)

9時30分～16時30分

■会場 米沢市すこやかセンター

■定員 乙種第4類 80人

丙種 20人

■申込期間 4月6日(月)～5

月8日(金) ※先着順

■問合せ 消防署小国分署(☎

62-2154)へ

危険物取扱者試験および消防設備士試験の実施について

【危険物取扱者試験】

◎試験の種類

甲種・乙種(全類)・丙種

◎試験日 6月13日(土)

◎場所 米沢鶴城高校

◎受付期間

4月17日(金)～4月30日(木)

【消防設備士試験】

◎試験の種類

甲種(全類)・乙種(全類)

◎試験日 5月23日(土)

◎場所 山形ビッグウイング

◎受付期間 4月3日(金)～16日(木)

■受験申請方法 電子(インターネット)、書面(持参・郵送)

■その他 他の試験日程等の詳細は(一財)消防試験研究センター山形県支部のホームページをご覧ください。

■申請・問合せ (一財)消防試験研究センター山形県支部(☎

023-631-0761)へ

危険物取扱者・消防設備士の免状をお持ちのかたへ

危険物取扱者・消防設備士の義務として、消防法令では、

免状交付の日から10年ごと写真の書換えをしなければならぬ規定となっております。

免状の写真下欄記載の期限を確認の上、速やかに手続きをされるようお知らせいたします。

■問合せ (一財)消防試験研究センター山形県支部(☎0

23-631-0761)へ

「ひとり親家庭交流会」のご案内

■日時

5月31日(日) 10時～15時

■場所 リナワールド

■対象 県内のひとり親家庭60世帯(中学3年生までのお子さんがいる家庭)

■内容 午前 研修・交流会(ひとり親家庭支援制度・母子会活動の紹介等)

午後 親子交流

■参加費 子ども 1,700円

大人 800円

■申込締切 4月20日(月)

■申込・問合せ 山形県母子寡婦福祉連合会事務局(☎

023-633-0962)へ

令和8年度農業経営実践講座

受講生募集

農業を新しく始めたかたやさらなる技術取得等を目指す農業者のかたを対象に講座を開講します。

■開講講座 大豆づくり基礎／さくらんぼ栽培／シャイン

マスカット栽培／なす栽培

／啓翁桜栽培／乳用牛及び

肉用牛の飼養管理／農業簿記

／農産加工基礎

■受講料 無料(教材費等実費負担の場合あり)

■申込期限 随時受付(途中からの受講も可)

■申込・問合せ 置賜総合支庁西置賜農業技術普及課(☎

0238-88-8215)へ

軽自動車税の納税証明書

について

これまでの軽自動車税を口座

振替で納めたかたへ完納分納税

証明書を郵送していましたが、

令和8年度以降は送付しません。

紙の証明書が必要なかたには税

務課窓口で個別に発行します。

■問合せ 税務課税政管理室

(☎62-2403)へ

保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■3歳児健診

- ・期 日 4月10日(金)
- ・受付時間 12:30~13:00
- ・対 象 R4年8月~10月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合せ 健康管理センター (☎61-1000) へ

今月の納税 2026.4

4月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●4月27日(月)

水道料、下水道料、簡易水道料

●4月30日(木)

軽自動車税、住宅使用料、児童福祉使用料、介護保険料

■問合せ先

税務課税政管理室 (☎62-2403) へ

こころの健康相談

置賜保健所では、こころの健康に関する相談を実施しています。

■日時 4月8日(水)、15日(水) 9時30分~11時

■場所 置賜総合支庁本庁舎

■対象者 こころの健康に関してお悩みをお持ちのかた及びその家族

■内容

精神科医師または保健師による個別相談

■利用方法 各相談日の2日前までにご予約ください。なお、保健師による相談は随時受け付けています。

■申込・問合せ先

置賜保健所地域保健福祉課精神保健福祉担当 (☎0238-22-3015) へ

子育て支援センターから

■4月の広場日程

		曜日・日時	時間	申込
あそびの広場 ※今年度から2回開催		4/11(土)	9:00~11:30・13:00~16:00	不要
		4/25(土)	場所:健康管理センター	
なかよし広場		月~金	9:00~11:30・13:00~16:00	
			場所:アスモ内または健康管理センター	
子育て講座	ヨガ	4/25(土)10:00~11:30	健康管理センター	要

■対象者 就学前のお子さんとお家のかた

■利用時の注意点

体調の悪い場合は、利用できません。

■その他

お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。

■問合せ 子育て支援センター (☎090-9015-8330) へ

求 人 情 報

町ホームページにおいて、小国町をおもな就業先としている求人情報を毎週火曜日に更新しています。下記の二次元コードよりご覧ください。

既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。求人情報の詳細については、ハローワーク長井 (☎84-8609) へお問い合わせください。



◀ホームページはこちらから

マイナンバーカード関連手続きの停止について

4月23日(木)は、機器更新のため以下の手続きができません。23日に手続きを予定しているかたはご注意ください。

■停止する手続き

○マイナンバーカードの申請・交付

○マイナンバーカード暗証番号の更新・変更・再設定等

○マイナンバーカードを利用した特例転出・転入(紙の転出証明書なしで転出・転入ができる制度)

○転居等によるマイナンバーカード券面事項の書き換え

■問合せ 町民課住民窓口担当 (☎62-2260) へ

令和8年度小国町職員体制（4月1日付）

※太字は昇任・昇格及び異動、(兼)は兼務、(併)は併任、
 〈再〉は再任用、〈新〉は新規採用

特別職

町長 仁科 洋一
 副町長 阿部 英明
 教育長 今 秀之

政策企画監(兼) 課長(兼)
 次期総合センター建設推進主幹 佐藤 友春
 行政管理担当課長 佐藤 ひとみ

企画財政主幹 高橋 俊典
 【行政管理室】
 室長 羽田 淳哲

○行政管理担当

係長 仁科 駿平
 主任 蛭原 紘子
 主事 小松 諒

主事 齋藤 萌
 技能労務員 岩瀬 詩織
 ○管財担当
 (兼)主査 (羽田 淳哲)

主事 須貝 勇輝
 自動車運転転長 米野 幸宏
 自動車運転専門技能員 清野 賢一

自動車運転転手 遠藤 広寿
 ODX推進担当
 係長 木村 明宏

主事 金子 将也
 【企画財政室】
 (兼)室長 (高橋 俊典)

○政策企画担当
 (兼)協働のまちづくり担当

主査 遠藤 愛

総務企画課

主事 舟山 大輝
 〈新〉主事補 加藤 聖奈
 ○財政担当
 係長 伊藤 拓也
 主任 高橋 翔
 【次期総合センター建設推進室】
 ○次期総合センター建設推進担当
 室長(兼)主査 片桐 研二
 主任 井上 博人
 課付係長 岡崎 恵
 課付主事 渡部はるか
 課付主事(地域活性化センター派遣) 伊藤 滯奈

課長(兼)危機管理主幹 青木 伸幸
 危機管理主幹補佐 河内 亮
 【町民生活室】
 室長 小池みどり

○町民生活担当
 (兼)危機管理担当
 係長 室岡 慶士
 主事 佐藤 甫

【住民窓口室】
 室長 舟山さゆり
 ○住民窓口担当

(兼)主査 (舟山さゆり)
 主事 五十嵐愛穂
 主事 遠藤 怜奈

○国保医療担当
 主査 片桐 康代

町民課

会計室・税務課

町民課
 主事 佐藤 真綸

会計管理者(兼)課長 佐藤 重美

【会計室】

室長 横山 真也
 主事 小松佳帆里

税政管理主幹 木村 英和
 【税政管理室】
 (兼)室長 (木村 英和)

○課税担当

係長 佐藤 正樹
 主事 原田 陽司

○収納担当
 係長 舟山 友樹
 主事 舟山 健太

課長 瀨齊 知倫
 【子育て支援センター】
 (兼)所長 (瀨齊 知倫)

【健康管理センター】
 (兼)所長 (瀨齊 知倫)

【病後児保育室】
 (兼)室長 (瀨齊 知倫)

【福祉政策室】
 室長 渡部 寿郎

子育て政策推進専門員 益田 則幸

○福祉担当
 (兼)主査 (渡部 寿郎)

主事 高橋 牧人

健康福祉課

主事 菅野 綾子
 【健康長寿推進室】
 室長 舟山 亜樹

○長寿介護担当
 主査 横山真由美
 主事 伊藤 愛

○地域保健担当
 主査 井上ひとみ
 主任保健師 桐生江梨子
 主任保健師 結城 邦拓

保健師 松山 麻奈
 保育士 長岡美和子

【新】主事補 有賀小百合
 (兼)所長 (瀨齊 知倫)

【地域包括支援センター】
 (兼)次長 (舟山 亜樹)

主査 宮尾とも子
 (兼)主任保健師 井上ひとみ

社会福祉士 藤川 祐子
 〈再〉居宅介護推進指導員 木村 広英

【中央児童室】
 (兼)室長 瀨齊 知倫

放課後児童支援主査 伊藤久美子

商業政策監 磯部 俊二

課長 (兼)白森ブランド戦略主幹 舟山 真次

【商工労働政策室】
 (兼)室長 (磯部 俊二)

産業振興課

健康福祉課

産業振興課

○商工労働政策担当
 主査 蛭谷マキ子
 主事 伊藤 雄一

主事 菅野 樹生
 【観光交流推進室】
 (兼)室長 (舟山 真次)

○観光交流推進担当
 係長 齋藤 晃司
 主事 塚原駿一郎

【白い森ブランド戦略室】
 (兼)室長 (舟山 真次)

白い森ブランド戦略専門員 松本 克典

○白い森ブランド戦略担当
 係長 渡部 智也

【新】主事補 山木 優
 〈再〉白い森ブランド推進指導員 仁科 清春

課長 塚原 鉄也
 【農林振興室】
 室長 大谷 愛子

○農地調整担当
 (兼)主査 (大谷 愛子)

主事 高橋 良季
 〈再〉農地農業振興指導員 齋藤 勉

○農政農村担当
 主査 今 美穂

主事 伊藤 竜哉

主事 安部 佳奈

○森林振興担当
 主査 佐藤孝太郎

農林振興課

農林振興課

農林振興課

技師 今盛 雅明
(再)農林業施設保全指導員 渡邊 久光

地域整備課

課長 (兼)新潟山形南部連絡道路建設推進主幹 伊藤 鉄哉
【建設管理室】
室長 佐藤 秀樹
○建設管理担当
係長 今 博貴
主事 舟山 大地
主事 金 歩夢
主事 今 直人
○水道業務担当
主査 今 直樹
主事 矢部 絵里
主事 本間 聡史
【新潟山形南部連絡道路建設促進室】
(兼)室長 (佐藤 秀樹)
○新潟山形南部連絡道路建設促進担当
(兼)係長 (今 博貴)
【建設技術室】
(兼)室長 (伊藤 鉄哉)
○建設技術担当
主査 三瀧 薫
技師 渡邊 颯人
技師 河内 峻甫
技術手 伊藤 快

教育振興課

課長 小野 正晴
高校魅力化推進担当課長 渡部 由美
【教育振興室】
室長 加藤智香子

町立病院

学校教育専門員(兼)指導主事 室岡 貴翔
○学校教育担当
主査 安部 淳
【新】主事補 竹田 隼人
小国小学校調理師 鈴木 良子
【生涯学習室】
(兼)室長 (小野 正晴)
○生涯学習担当
主査 山口 真一
主任 蛸原 一平
○スポーツ振興担当
主査 貝沼 俊明
主事 梅津 稀人

教育振興課

【高校魅力化推進室】
(兼)室長 渡部 由美
○高校魅力化推進担当
係長 羽田 伸美
【おぐに開発総合センター】
(兼)所長 (渡部 由美)
○おぐに開発総合センター管理担当
(兼)係長 (羽田 伸美)
主事 安達 龍輝
局長 伊藤 哲史
局長補佐 井上 賢和
書記 渡部 瑞葵
(併)局長 伊藤 哲史
(併)局長補佐 井上 賢和
(併)書記 渡部 瑞葵

監査委員事務局 議事事務局

院長(兼)包括ケア推進監 (兼)医療技術部長 伊藤 宏
診療部長(兼)歯科医長 飯田 俊也

町立病院

事務長(兼)包括ケア推進次長 (兼)医療技術部長事務代理 中津川典広
(兼)地域健康主査 金子 弘範
事務次長(兼)医療情報システム管理室長 堅田 李花
(兼)地域医療連携室庶務主査 青木 正太
医師 木村 綾
医師 青木 正太
医師 青木 正太
総務主査(兼)事務係長 木村 綾
地域医療連携室(兼)病棟看護主査 綾
地域医療連携病棟看護師長 (兼)地域医療連携室主査 今 由美
地域医療連携室主査 今 由美
医療介護安全管理室長 高橋 純
(兼)地域健康看護主査(兼)外来看護主査 高橋 純
(兼)地域医療連携外来看護師長 (兼)医療安全管理者 三須 千春
感染管理係長(兼)院内感染管理者 勝見 友子
(兼)主任臨床検査技師 大久保恵子
医療技術専門員(兼)薬剤主査 塚原 路恵
(兼)療食主査 長坂 幸広
臨床工学主査(兼)医療情報システム管理室主査 伊藤 由香里
(兼)地域健康係長 加藤 豪
臨床検査係長(兼)地域健康主任臨床検査技師 渡部寿賀子
(再)臨床検査指導員 船山 美雪
主任薬剤師 堺 和幸
放射線技師長 伊藤 真理
放射線技師 今野 祐治
リハビリテーション係 鈴木 光
療法士長 加藤 直美
主任作業療法士 高橋 素子
作業療法士 土屋 恭子

町立病院

栄養士 舟山 鮎美
栄養士 藤田 梨絵
主任看護師 今 千晴
(再)看護指導員 長坂 幸子
看護介護部長 今 友希子
看護専門員 笠原 章子
介護担当事務次長(兼)介護担当庶務主査 鎌田 泰子
介護医療院看護担当係長 鎌田 泰子
(兼)看護師長
(兼)医療介護安全管理室係長 阿部 靖子
NST癩瘡対策係長 米野 早苗
看介教育係長 舟山 香
介護係長(兼)主任相談指導員 高橋 純
在宅介護係長(兼)相談指導員 高橋 純
主任看護師 渡邊 里香
主任看護師 勝見 友子
主任看護師 馬場 良子
主任看護師 塚原 路恵
主任看護師 木村亜沙美
看護師 伊藤由香里
看護師 佐竹 幸
看護師 青木 美和
看護師 渡部 春香
看護師 本間 美保
看護師 高橋ルリ子
看護師 川崎 真紀
看護師 伊藤 愛子
看護師 伊藤 優
看護師 高橋 一美
看護師 岩崎 小春

町立病院

看護師 佐藤 皆水
主任介護士 伊藤 智美
主任介護士 木口 早織
介護士 須貝 千奈
介護士 佐野 麻美
介護士 田島友里恵
介護士 金子 乃菜
主事 中津川ひとみ
主任歯科衛生士 木村さくら
主任歯科衛生士 清野 知美

訪問看護ステーション

(兼)所長 伊藤 宏
(兼)事務主幹 中津川典広
訪問看護員(兼)町立病院看護師 日下 雅美
(兼)事務主幹補佐 金子 弘範
看護師長 小田 綾
地域医療栄養管理係長 (兼)町立病院看護師 安孫子まゆみ
庶務係長 青木真由美
主任 吉田美由紀
主任看護師 佐藤 悦子
看護師 佐藤 えり
看護師 小関 恵

退職者(令和8年3月31日付)
※一般行政職のみ掲載

教育振興課主任 阿部 理沙
地域整備課主事 佐藤 春子



戸籍のまど

(2 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

五味 沢 伊 藤 ^{あや}茜 (信 み ど り)

おくやみ申し上げます。

幸 町 横 山 富 子 (97)
 小 国 町 小 林 さ つ (93)
 片 貝 佐 藤 サン子 (98)
 今 市 貝 沼 継 治 (86)
 古 田 木 村 す み (100)
 松 岡 渡 部 数 彦 (70)
 宮 の 台 齋 藤 光 代 (82)
 芹 出 舟 山 レ イ (90)
 増 岡 坂 上 輝 雄 (67)
 増 岡 加 藤 ま り (84)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (令和8年2月28日現在)

人口 男・・・3,138人 (-4)
 女・・・3,083人 (-7)
 計・・・6,221人 (-11)
 世帯数 2,817世帯 (-9)

編集後記 令和7年度の表紙は町内で活躍をする若いかたに着目してお話をうかがいました。多くのかたと話をする中で、私自身も少しは「白い森でかがやく“若い衆”」に近づくことができたのかなと感じています。「この写真はいがったな〜」や「広報いつも見てっぜ」という言葉が私の何よりの励みになっています。そして、いよいよ令和8年度が始まりました。晴れて広報担当2年目を迎えることができました役場3年目の舟山です。町出身でありながら町を離れていた時間が長く、広報1年目は、ある意味新鮮な小国の姿を見ることができました。今年度は、より小国の今をお伝えすることができるように頑張っていく所存です。引き続き、様々な行事やイベントにお邪魔させていただきまますので、緑の腕章が付いたカメラを持った私を見かけたら、お声がけいただければと思います！ (舟山)

4月の

おぐにスポーツイベント 「運動で健康サプリ」



- 日 時 4月18日(土) 10:00~11:00
 - 場 所 小国町民総合体育館
 - 内 容 「体を整えるストレッチポール」
 - 参加費 500~750円
 - 持ち物 タオル・飲物
 - 定 員 23人
 - 申込締切 4月15日(水)
- ※ストレッチポールは無料でお貸しします。

■申込・問合先 (☎62-5808) へ

特定非営利活動法人



相 談

・年金相談

- 日 時 5月20日(水)10:30~13:30
- 場 所 役場
- 対応者 米沢年金事務所職員
- 問合先 米沢年金事務所 (☎0238-22-4220) へ

告示文書等の掲示について

小国町公告式条例の改正に伴い、令和8年4月1日より、条例の公布等については、告示文書・公告文書を小国町のホームページに掲載し、又は小国町役場前掲示場に掲示します。

■問合先 総務企画課行政管理担当 (☎62-2112) へ

春季火災予防運動

春季火災予防運動を4月9日(木)~22日(水)までの14日間実施します。

期間中、防災ラジオにより、注意喚起の放送を行います。また、18日(土)14時~16時まで小国町消防団の消防ポンプ自動車が出発のため町内防火パレードを実施します。

空気が乾燥し火災が発生しやすい季節になりました。この度、岩手県大船渡市の大規模林野火災を契機に、林野火災注意報・警報が発令できるよう火災予防条例が一部改正されました。詳しくは、西置賜消防組合ホームページでご確認ください。注意報等を確認し、火の取り扱いには十分注意しましょう。

■問合先 町民課 (☎62-2261) または 消防署小国分署 (☎62-2154) へ